

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	19	観光ビジネス論
1年	27	エアラインサービス
1年	30	ホテル・ブライダルサービス
1年	46	実践キャリア形成ゼミ
1年	48	観光研修Ⅰ
1年	49	観光ゼミⅠ（高野ゼミ）
1年	50	観光ゼミⅠ（小里ゼミ）
1年	53	観光ゼミⅠ（鎌田ゼミ）
2年	69	ウェディングブライダル演習
2年	71	テーマパークビジネス
2年	81	観光研修Ⅱ
2年	87	観光ゼミⅢ（高野ゼミ）
2年	91	観光ゼミⅢ（鎌田ゼミ）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング	
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FCO-04	
	●				●		
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	鎌田 貢治	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位
	現代英語学科	選択	2年			授業時間数	30 時間
				授業形態	講義	授業回数	15 回
評価の方法	試験（筆記）		50 %		授業内課題		30 %
	受講態度		20 %				
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。						
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。						
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。						
回	授業計画				準備学修		
1	観光産業の動向と最新状況。TDL USJのマネジメントについて（特にTDLの実態）				TDR, USJのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
2	地方のテーマパークの現状について（ジャングリア, レゴランド, ハウステンボス）				テーマパークの進化について理解しておいてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
3	観光ビジネスのグローバル経営（H. I. Sと旅行業界のガリバー-JTBの取組み）				JTB HISの今後の戦略について理解しておいてください（予習概ね20分復習, 復習概ね20分）		
4	宿泊業界の現状（星野リゾート, 共立メンテナンス, ファーストキャビン等）				現状の宿泊業界について考えておいてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
5	Webビジネス（エクスペディア, Booking.com, スカイスキャナー, Agoda, 楽天について）				Web専用ビジネスの特徴を理解しておいてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
6	航空産業の紹介（ANA, JAL, LCC等）				航空会社の企業名を挙げてみてください（戦略等）（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
7	鉄道ビジネス成功例（JR東日本, 東京メトロ等）				鉄道ビジネスとは何なのか理由を考えておいてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
8	地域観光の成功例（北海道ニセコ, 長野阿智村, 宮城オルレ等）				地域観光に必要なものは何かを考えてください（予習概ね20分, 概ね復習20分）		
9	地域観光の深堀り（地元ならではのイベントについて）				地域観光に必要なものは何かを考えてください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
10	モデルコース作成グループワーク①情報収集				作成に必要な事項を様々な面から考察してください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
11	モデルコース作成グループワーク②まとめ作業				作成に必要な事項を様々な面から考察してください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
12	グループによる発表 討議				各グループが作成をした内容を様々な面から検証してください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
13	インバウンドについて：和楽旅行社様による講義（ゲストスピーカー）				インバウンド専門会社について考察してください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
14	国際化に向けた留学ビジネスについて：ATAインステテュート様による講義（ゲストスピーカー）				留学ビジネスの今後の方向性を探ってください（予習概ね20分, 復習概ね20分）		
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造				日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください（復習概ね20分, 復習概ね20分）		
教科書	特になし						
参考文献	「1からの観光事業論」高橋一夫その他, 碩学社 「1からの観光」高橋一夫その他, 碩学社 「現代の観光事業」北川宗忠, ミネルヴァ書房 「観光ビジネス論」長谷政弘, 同友館						
備考	原則として事前にUNIPAに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。UNIPAなどで課題の提出を行う予定です。課題のフィードバックについては原則、次回の授業内にて行います。						

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)**

40数年旅行会社に在籍していた経験を活かし、様々な体験を随時伝えていきたい。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-03				
		●	●							
科目名	エアラインサービス				単位認定者	小里 千寿		試験 (レポート)	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	40 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数		15 回				
授業の概要	様々な空港業務のうち、主にグラウンドスタッフに必要とされる空港サービスの基本知識、接客スキル、ビジネスマナー、コミュニケーション力などを学び、空港におけるサービスマインドを身につける。									
到達目標	◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる（言葉遣い/立ち居振舞いなど） ◇社会人としての基本的な規律を順守できる ◇「おもてなし」の大切さを考え、日常生活でも接客を發揮することができる ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる ◇グラウンドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる									
学修者への期待等	◇積極的な授業への参加 ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	マインドセット				【事前】HPでANAグループ企業情報を確認し、ANAについて各自イメージしておくこと（概ね1時間程度）			小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
2	印象力アップ I							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
3	印象力アップ II							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
4	ANAを知る～過去・現在・未来～							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
5	ANA's Way				【事前】ANA's Wayについて調べておくこと（概ね1時間程度）			小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
6	言語化トレーニング							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
7	キャリア I～自己分析～				【事前】ライフラインチャートを事前に記入しておくこと（概ね1時間程度）			小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
8	キャリア II～企業とのマッチング～				【事前】志望する企業情報を調べておくこと（概ね30分程度）			小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
9	チームビルディング I							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
10	チームビルディング II							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
11	表現力アップ							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
12	ANAグラウンドスタッフの仕事を知る				【事前】グラウンドスタッフの具体的な業務内容を調べておく（概ね1時間程度）			小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
13	グラウンドスタッフの対応力～基礎編～							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
14	グラウンドスタッフに求められるコミュニケーション力							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
15	グラウンドスタッフの対応力～実践編～							小里 千寿 組村 有希 木村 光里		
教科書	ANAエアラインスクールテキスト式									
参考文献	「ANAの口ぐせ」「ANAの気づかい」「ANAの教え方」以上3冊 ANAビジネスソリューション・株式会社KADOKAWA									
備考	1日目の講義の前にオリエンテーションがあります。希望者のみ、福島空港において1泊2日の実務研修を実施します。授業内で取り組んだ課題などのフィードバックに関しては、講義の中で解説を行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

この授業ではCAの経歴をもつ実務経験者を招聘し授業を実施する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-06		
		●	●					
科目名	ホテル・ブライダルサービス				単位認定者	小里 千寿 小野寺 理恵		※詳細は「備考」欄を参照すること。  <b>評価の方法</b>
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界について、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。							
到達目標	実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで、より具体的にホテルサービスを理解できるようにする。							
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習を積極的に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え、東北に訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービスを自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。							
回	授業計画				準備学修			担当教員
1	ガイダンス・ホテルサービスの概要 ※ホテル開催				ホテルのサービスとはどのようなものを調べてください(30分程度)。			小里 千寿 山岸 浩太郎
2	ホテル・サービス：宴会サービスについて ※ホテル開催				ホテルサービスにおける宴会場での仕事について各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 齋藤 武義
3	ブライダル部門について ※校内開催				ホテルサービスにおけるブライダル部門について各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 石山 安樹子 川口 優奈
4	ホテルサービス：レストランサービスについて ※ホテル開催				ホテルサービスにおけるレストランでの仕事について各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 照井 大介
5	～プロフェッショナル講義～ ①ソムリエ ②SAKE DIPLOMA ※ホテル開催				ホテルサービスにおけるソムリエ、SAKE DIPLOMAの仕事について各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 佐藤 喜明
6	～プロフェッショナル講義～ 日本料理テーブルマナープラン ※ホテル開催				日本料理のテーブルマナーについて各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 熊谷 光代
7	インバウンド概論 ※校内開催				日本のインバウンド観光について各自あらかじめ調べておいてください。(30分程度)。			小里 千寿 武田 あや
8	宿泊部門について ※ホテル開催				ホテルサービスにおける宿泊部門について各自あらかじめ調べてください(30分程度)。			小里 千寿 門倉 健彦
9	グループディスカッション 「お客様の期待を超えるサービスとは」 ※ホテル開催				前回までの授業の内容を復習してください(1時間程度)。			小里 千寿 小畑 美咲
10	プレゼンテーション、レポート課題説明 ※ホテル開催				前回の授業の内容を復習し、プレゼンテーション資料を各自準備してください(1時間程度)。			小里 千寿 小畑 美咲
11	ブライダルコーディネーターとは、<DVD鑑賞>コーディネーターの身だしなみ・作法(ペンの渡し方)				ウェディングプランナーの仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)。			小野寺 理恵
12	実技テストの解説(二人への名刺&スケジュール説明)自己紹介と名刺渡し練習、<DVD鑑賞>フルオーダーWEDDING				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。			小野寺 理恵
13	DVD鑑賞(小さなWEDDING) ※実技テスト(最終日受けられない方)				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。			小野寺 理恵
14	模擬挙式体験 ※ホテル開催 (2年:「ウェディングブライダル演習」と合同)				模擬挙式の内容を復習しておくこと(30分程度)。			小野寺 理恵
15	実技テスト				前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)。			小野寺 理恵
教科書	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会							
参考文献	「ホテルビジネス基礎編」一般財団法人日本ホテル教育センター 「新ホテル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター							
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。第1回～第10回授業までは、小里と現役ホテリエ(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ)が担当する。第11回～第15回はブライダルコーディネーター(小野寺理恵)が担当する。 <評価の方法> 小里 千寿: 第1回～10回 - 授業内課題: 60%, 受講態度: 40% 小野寺 理恵: 第11回～15回 - 授業内実技試験: 80%, 受講態度: 20%							

※以下は該当者のみ記載する。

#### 実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

現役のホテリエ(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ→未定)とブライダルコーディネーター(小野寺理恵)として実務経験を有する。  
各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて、ホテリエに求められているマインドやスキル、サービスについての授業を行うことができる。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-02				
	●	●	●	●	●					
科目名	実践キャリア形成ゼミ				単位認定者	小里 千寿		授業内課題	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	40 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
						授業回数	15 回			
授業の概要	「基礎キャリア形成ゼミ」で学んだ基礎知識を踏まえ、様々な職種や業種について理解する。自分自身を客観的に分析できるようになるとともに、履歴書・自己紹介文・エントリーシートなどの書き方、インターネットを活用した情報収集の方法などを広く学ぶ。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークやグループディスカッションをとおして自分の意見を積極的に発言することを期待する。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業を受講するうえで理解してほしいこと、就職ガイダンスⅠ…就職サイトの活用法				【事後】学んだポイントをまとめておく(30分程度)。					
2	就職ガイダンスⅡ…就職活動キックオフガイダンス、支援センターの利用方法、求職票について				【事後】学んだポイントを就職ノートにまとめておく(1時間程度)。					
3	自己分析とは				【事後】学んだポイントをまとめておく(1時間程度)。					
4	グループワーク①…他者と意見交換しながら自己分析を行う				【事後】ワークの結果を反映した自己分析結果をまとめておく					
5	自己分析まとめ				【事後】ワークの結果を反映した自己分析結果をまとめておく					
6	業界・企業研究とは				【事前】志望する企業について2～3決定し、おおまかに調べておく(1時間程度)。					
7	グループワーク②…(志望する)企業について調べ、共有する				【事後】志望する企業をいくつかピックアップしておく(1時間程度)。					
8	就職ガイダンスⅢ…履歴書・エントリーシートの書き方				【事後】自己PRと学生時代に力を入れたことを履歴書の欄に記入する(1時間程度)。					
9	グループワーク③…わかりやすい履歴書・エントリーシートについて、他者の意見を聞いて理解する				【事前】志望する業界・企業のエントリーシートを書いてみる(1時間程度)。					
10	社会人のキャリアストーリー①…自分のロールモデルを探す 仕事理解:ホテル業界(ゲストスピーカー)				【事前】ゲストスピーカーについて調べておく(1時間程度)。					
11	就職体験報告会…2年生から実際の就職活動体験を聞く				【事前】質問を考えておく(1時間程度)。					
12	社会人のキャリアストーリー②…自分のロールモデルを探す 仕事理解:旅行業界(ゲストスピーカー)				【事後】ゲストスピーカーについて調べておく(1時間程度)。					
13	社会人のキャリアストーリー③…就職活動、人事の目線を理解する 仕事理解:就職採用(ゲストスピーカー)				【事後】ゲストスピーカーについて調べておく(1時間程度)。					
14	面接とは…面接の種類、面接のポイント、面接練習				【事後】学んだポイントを就職ノートにまとめておく(1時間程度)。					
15	講座のまとめと総括:社会人とキャリア形成				【事前】志望動機を含めた履歴書を書いてみる(授業内課題)。 【事後】これまでの学びを整理して目標設定する(30分程度)。					
教科書	必要に応じて、授業において配布する。									
参考文献	「改訂版キャリア形成2ー業界研究とセルフマネジメント」 東海大学現代教養センター編、東海大学キャリア就職センター									
備考	ゲスト講師や学生総合支援センターの協力体制、受講者の理解度等により、講義の順番や内容を変えることがある。 授業への疑問等については、次回以降にフィードバックを行なう。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-07				
	●	●								
科目名	観光研修 I				単位 認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の 方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「観光研修I」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。それら学外での学修活動だけではなく、学内における事前学修、事後発表を通して観光に対するさらなる知見の獲得を行い、学修を深化させる。特に1年次では「観光」という事象について集団で学び合い、認識を深める「フィールドワーク入門」としての面も持ち、多角的に観光現象について学修を深める。									
到達目標	観光を学ぶ学生として、研修や体験で得た知識を今後の進路選択に活かせるようになる。事前研修、体験、事後発表という一連の流れの中で、自らの考えを明確に表現できるようになる。									
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。									
回	授業計画				準備学修					
1	近隣施設見学：仙台国際空港				【事前】 見学に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
2					【事後】 施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
3	仙台国際空港：事後学修				【事前】 見学時に感じた疑問などをまとめておくこと（概ね40分）。					
4	仙台市のインバウンド政策を知る（ゲストスピーカー）				【事前】 東北地方のインバウンドに関する情報を調べておくこと（概ね50分）。					
5	仙台市のインバウンド政策を知る：事後学修				【事前】 講話の内容について疑問に思ったことなどをまとめておくこと（概ね50分）。					
6	手話体験講座				【事前】 観光業と手話の関りについて調査しておくこと（概ね1時間）。					
7	手話体験講座：事後学修				【事前】 観光業で活用できる技能には、他にどのようなものがあるか考えておく（概ね1時間）。					
8	学外研修：事前学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）				【事前】 研修地について調査しておくこと（概ね50分）。					
9	学外研修（2年：「観光研修Ⅱ」と合同）				【事後】 研修地で学んだこと、体験したこと、知ったことについての資料を整理しておくこと（概ね50分）。					
10										
11	学外研修：事後学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）				【事後】 学外研修の内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
12	教育文化施設視察				【事前】 施設に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
13										
14	教育文化施設視察：事後学修				【事後】 施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
15	全体のまとめ				【事前】 1年間の学修内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
教科書	使用しない。									
参考文献	参考資料は随時配布する。									
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。研修をオンラインに変更して実施することがある。授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-09					
	●	●	●	●	●						
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	高野 宏輝		授業内課題等	80	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20	%
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間				
						授業回数	15 回				
授業の概要	「初年次ゼミ」（1年前期配当）で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。										
到達目標	①自分の強みを知り、自分らしい「リーダーシップ」を発揮し、チームの目標達成に貢献できるようにする。 ②「マーケティングマインド」を育成し、お客様に満足いただける仕事の重要性を理解できるようにする。 ③イベント（ツアー等）企画運営を経験し、計画立案能力や現場対応力の重要性を理解できるようにする。										
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント（ツアー等）の企画運営を行う。自分なりの強みを活かして、イベントの成功に貢献して欲しい。</li> <li>・ グループディスカッションや自身が考えたことを発表する機会が与えられる。人の話を聴き、積極的に各自が発言することで、ゼミ活動の活性化に貢献して欲しい。</li> <li>・ チーム活動が基本となる。全コマ出席する意思のある学生に参加して欲しい。</li> </ul>										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンス ゼミの進め方、自己紹介など										
2	チームビルディング チームメンバーの相互理解 グループワーク					【事前】自己紹介シートを作成する（1時間程度）					
3	「シェアド・リーダーシップ」とは？ 自分ができる「リーダーシップ行動」を考える 講義とグループワーク					【事前】①「シェアド・リーダーシップ」の動画を視聴し、感想をまとめる（1時間程度）②自分の「強み」を考えてくる（30分程度）					
4	イベント企画① イベント目標の検討 グループワーク					【事前】該当するイベント運営の準備を行う （各回 30分～1時間程度）					
5	イベント企画② イベント内容の決定 グループワーク										
6	イベント企画③ イベント計画立案 グループワーク										
7	イベント企画④ 企画プレゼンテーション グループワーク										
8	イベント企画⑤ 運営準備 グループワーク										
9	イベント実践① イベントの実施（2コマ連続）					【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
10											
11	イベント実践② イベントの実施（ <del>2コマ連続</del> ）					【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
12	イベント実践③ イベントの実施（3コマ連続）					【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
13											
14											
15	リーダーシップ行動振り返り まとめ（全体を振り返って）グループワーク					【事後】LMSより振り返り最終レポート作成し提出する（1時間程度）					
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。										
参考文献	必要に応じて各講義中に紹介する。										
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題はUNIPA経由での提出を基本とし、教員評価の後に各学生へフィードバックされる。適宜参考資料をUNIPA内に掲載する。</li> <li>・ グループワーク・チーム活動における情報共有にはMicrosoft Teamsを活用する。</li> <li>・ 受講者の要望、理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。</li> <li>・ 準備学修は、各講義の際に必要なに応じて個別に指示する。</li> </ul>										

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

旅行会社で顧客に対するイベント企画提案、運営実践の経験がある。イベント業務管理士として、知識と実践に基づく学生指導を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-09				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミ I				単位認定者	小里 千寿		試験 (レポート)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	10 %
					授業形態		演習		授業回数	15 回
授業の概要	「初年次ゼミ」(1年前期配当)で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	①結婚にまつわる各種要素に関して学び、総合的な理解を得る。 ②結婚式場・相談所などのフィールドワークを通し当事者意識で「結婚」を理解できるようになる。 ③コミュニケーションスキルを身につけ、調べた事柄を相手に対し的確に伝えられるようになる。									
学修者への期待等	結婚式や披露宴、新婚旅行など「結婚」にまつわる各種準備について、自ら調べ自分の意見を持つことを期待する。グループワーク等を行うため、遅刻・欠席等をしないように注意すること。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス、自己紹介、ゼミの進め方 自分が結婚するとしたら～ウェディングのトータルプラン				課題を事前に調べてきてください(1時間程度)。					
2	フィールドワーク①準備<調査場所の下調べ>				フィールドワーク先①について事前に調べてきてください(1時間程度)。					
3	フィールドワーク準備 <グループでの作業分担・インタビュー項目の検討>				インタビュー項目を事前に考えてきてください(30分程度)。					
4	フィールドワーク①：関連施設の訪問 (メトロポリタン山形)				フィールドワークから得た内容をまとめておいてください(1時間程度)。					
5										
6	フィールドワークの振り返り・まとめ				フィールドワークから得た内容をまとめておいてください(1時間程度)。					
7	フィールドワーク②準備 <調査場所の下調べ・質問事項の整理>				フィールドワーク先②について事前に調べてきてください(1時間程度)。					
8	フィールドワーク②：関連施設の訪問				フィールドワークから得た内容をまとめておいてください(1時間程度)。					
9										
10	2回のフィールドワークを踏まえて、理想的なウェディング・プランの作成準備				フィールドワークから得た内容をまとめておいてください(1時間程度)。 現在、ホテル等で行われているウェディングについて調べてきてください(30分程度)。					
11	ウェディング・プラン作成				ウェディングのパンフレットから予習をしてきてください(30分程度)。					
12	ウェディング・プラン：中間報告会				プレゼンテーション資料をまとめておいてください(1時間程度)。					
13	ウェディング・プラン：中間報告を受けての修正				最終報告会に向けて、完成版を仕上げてください(1時間程度)。					
14	ウェディング・プラン：最終報告会				報告会で出た感想や改善点などを盛り込み、内容をブラッシュアップする(1時間程度)。					
15	まとめ									
教科書	使用しない。適宜、レジュメを配布する。									
参考文献	授業中に適宜紹介する。									
備考	授業についての疑問や課題等については、次回以降授業でフィードバックする。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

披露宴の司会者として1,000本以上の経験を持つ

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●	●	●

科目ナンバリング
TB-4-SEM-09

科目名	観光ゼミ I				単位 認定者	鎌田 貢治		試験 (レポート)	20 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		評価の 方法	授業内課題等
						授業時間数	30 時間	受講態度		20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「初年次ゼミ」(1年前期配当)で学んだ大学の学びの基礎を踏まえて、「観光ゼミI」では観光ビジネスの現場で必要とされるコミュニケーション能力の獲得と、課題を発見し解決する能力の育成を目指す。具体的には各教員の専門的分野を中心に行われる観光に関するゼミ活動の中から関心のあるゼミを選択し、ゼミ内で課題の発見や調査、解決、振り返りなどの活動を協力して行う中で、観察力、協調性、コミュニケーション力、課題解決力などの力を身につける。									
到達目標	東北全般の観光についての考察。東日本大震災以降国内外からの観光客が増加の一途を辿っている。その観光資源の現状及び今後の方向性等について全てを深堀りすることは出来ないが、様々な側面から観光材料を引き出し、今後の方向性がどのように変わって行くのか等を学生目線で深堀りしてもらいたい。									
学修者への期待等	宮城については2年次ゼミで深堀りをするため、宮城以外の5県について様々な面から検証をする。それにより国内からの観光客と海外からの観光客との志向の違いや、今後伸びることが想定される事象等をワーク等により会得してもらいたい。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス：ゼミの進め方、ゼミ長などの選出、ゼミ予定の検討。調査する東北各地のポイントの選定					東北各地の観光資源について調べておいてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
2	東北地区全般の観光事情(東北観光推進機構訪問)					東北全般の観光ポイントについて調べておいてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
3										
4	山形県全般の観光事情(山形県観光物産協会訪問)					山形県の観光ポイントについて調べておいてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
5										
6	グループ毎に各県の観光資源の深堀り①体験宿泊等					東北各県の観光調査POINTについて調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
7	グループ毎に各県の観光資源の深堀り②体験 グルメ等					東北各県の観光地 グルメ 宿泊全般について調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
8	福島県ホープツーリズム事情(福島県観光物産交流会訪問)					福島県ホープツーリズムについて調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
9										
10	グループ毎に各県の観光資源の深堀り③まとめ整理					東北各県の観光調査ポイントを調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
11	グループ毎の観光資源の調査まとめ(項目別細分化)					グループ毎に情報収集のまとめに伴う資料を調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
12	首都圏からの各県へのモデルコース作成①情報収集					モデルコース作成の資料収集してください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
13	首都圏からの各県へのモデルコース作成②仕上げ作業					最終コース作成に伴う資料の確認をしてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
14	グループ毎にモデルコースの発表 討議					PPT資料の作成最終確認をしてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
15	東北5県の名産品の調査及びグループワーク					東北の産品について調べてください(予習概ね20分,復習概ね20分)				
教科書	特に使用しません。必要な資料を随時配布します。									
参考文献	授業中に紹介します。									
備考	質問には次回以降の授業でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

40数年旅行会社に在籍をした経験と体験を講義の中で伝えていきたい。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-35				
		●	●							
科目名	ウェディングブライダル演習				単位認定者	小里 千寿		レポート	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目はブライダル事業の現場において挙式相談から披露宴までの一連の流れを実際にあるいは模擬的に体験・理解し、挙式に関する知識や技術を学ぶことで、ブライダル事業への理解を深めることを目的とする。授業形式は演習とし、受講生が主体的に協働して様々な場面にに対応できる力を養う。									
到達目標	模擬挙式を通してブライダル業界への理解と知識を深める。積極的に授業に参加し、チームでコミュニケーションを取りながら課題を解決する力をつける。									
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切にし、講義内容の復習や問題演習を積極的に行ってほしい。実際に模擬挙式を行うことによりブライダル業界への知識と理解を深めてほしい。グループワークが基本になるため、円滑なコミュニケーションを心掛けてほしい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	授業ガイダンス（ウェディングブライダル演習の授業の進め方、評価の仕方など）				【事前】ウェディングブライダルに関しあらかじめ参考文献等で調べておく（30分程度）。			小里千寿		
2	現役ウェディングプランナーの講話並びにウェディングブライダルの基礎知識				【事後】授業内課題としてウェディングプランナーの仕事についてのミニレポートを書いて次週に提出する（30分程度）。			小里千寿 梅宮三環子		
3	模擬挙式の役割を知る、役割分担を決定する（グループワーク）				【事前】挙式に必要なスタッフとその役割を調べ、模擬挙式で自分が担当したい役割を考えておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
4	【校外学修】ホテルモントレの式場見学、貸衣裳の仮予約				【事前】見学するホテルモントレのホームページを見ておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
5	挙式コンセプト・演出内容を決める				【事前】挙式コンセプトをインターネットや参考資料をもとにあらかじめ調べておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
6	模擬挙式の進行内容を組み立てる①				【事前】インターネットや参考文献などをもと挙式の進行をあらかじめ調べておく（1時間程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
7	役割分担ごとのトレーニング・準備作業①				【事後】自分が担当する役割について復習する（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
8	役割分担ごとのトレーニング・準備作業②				【事前】グループごとに前回までの授業を復習し、模擬挙式の自分の役割について再度検討しておく（1時間程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
9	模擬挙式の進行内容を組み立てる②（振り返りの意見を参考に進行を練り直し、決定する）				【事前】グループごとにあらかじめ前回までの授業を復習し、模擬挙式の進行について再度検討しておく（1時間程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
10	役割分担ごとのトレーニング・準備作業③				【事前】自分の役割を完璧に果たすための課題をあらかじめ調べておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
11	プレリハーサル①（講義室でのリハーサル）				【事前】前回までの授業内容と練習について復習しておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
12	プレリハーサル②（講義室でのリハーサル）課題抽出と解消への取り組み				【事前】グループで模擬挙式の進行内容について再度検討しておく（1時間程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
13	最終リハーサル（於：ホテルモントレ仙台のチャペル） 模擬挙式 本番 （1年：「ホテル・ブライダルサービス」と合同）				【事前】前回までの授業を復習し、本番に向け必要な準備を行い、小道具等の最終確認をする（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
14										
15	模擬挙式の振り返り				【事前】前回までの授業内容をあらかじめ整理しておく（30分程度）。			小里千寿 小野寺理恵		
教科書	なし（使用資料・ツールはその都度配布またはアナウンスします）									
参考文献	「ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「ブライダル総論」一般財団法人日本ホテル教育センター 「ブライダルプロデュース」一般財団法人日本ホテル教育センター									
備考	授業の内容によっては、90分授業（1コマ）と180分授業（2コマ）のいずれかになる場合があります。授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行います。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）										
この授業では、現役のウェディングプランナーを招聘した授業を実施する。実務家による講義を通じて、ブライダル業界における実務的業務を学び、自ら企画立案を行い模擬挙式の体験することができる。										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-13			
		●			●				
科目名	テーマパークビジネス				単位認定者	鎌田 貢治		授業内課題等	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数	30 時間	最終レポート
							授業回数	15 回	
授業の概要	我が国では1980年以降、東京ディズニーランドを始めとするテーマパークが次々と開園したが、それらの多くがバブル後に経営不振や休業、廃業に追い込まれた。本科目ではケーススタディとしていくつかのテーマパークを取り上げ、外的環境と企業努力の点から成功と失敗の要因を分析、理解する。また適宜テーマパークを実際に視察し、実際の運営に触れることで、テーマパークにおけるビジネスモデルを学ぶ。								
到達目標	テーマパークがもたらす経済効果とその周辺に係わる観光事業等がどのように関わっているのかを認識してもらおう。またTDLのホスピタリティを深耕することで、自身のパーソナリティの一つの選択肢として会得してもらおう。また世界のパークについても基本事項を会得する								
学修者への期待等	日本のテーマパークについて、現在どのような状況なのかを認識する。またTDL USJの2大テーマパークについては個人の感想を含めて意見を求める。八木山ベニーランド、スバリゾートハワイアンズでのフィールド学習を実施する。								
回	授業計画				準備学修				
1	授業ガイダンス：講師自己紹介、講義の進め方、八木山ベニーランドについて事前学修				特になし				
2	八木山ベニーランド視察研修				事前：ベニーランドについて歴史など調べておく。(概ね30分)				
3									
4	ベニーランド視察の振り返り検証 グループワーク中心				事前：視察内容を再度検証しておく。(概ね30分)				
5	TDLの歴史的背景及び現状 米国との相違性等				事前：TDLについての概要を調べておく。(概ね30分)				
6	テーマパークにおけるホスピタリティ おもてなし、サービスの違いを検証				事前：ホスピタリティとは何か考えておく。(概ね30分)				
7	グループワークにて上記内容のグループワーキング作業				事前：グループごとにパワーポイント作成、発表の準備。(概ね30分)				
8	上記各グループによるロールプレイング発表 USJの実態の検証				事前：USJの概要を調べておく。(概ね30分)				
9	TDL, USJ以外のテーマパークを対象にグループによる仙台発のモデルコースを作成				事前：対象にしたテーマパークの概要を調べておく。(概ね30分)				
10	モデルコースの作成と発表				事前：グループで発表の準備。(概ね30分)				
11	日本及び海外のテーマパークの紹介 検証				事前：海外のテーマパークの事前に調べておく。(概ね30分)				
12	ハワイアンズフィールド学修				事前：ハワイアンズの概要を調べておく。(概ね30分)				
13					事後：視察結果と講話の感想をレポート400字にまとめる(授業内課題①)。(概ね30分)				
14	上記各グループによるハワイアンズの振り返り検証 旅行とテーマパークとの関連性の考察				事前：グループごとにパワーポイント作成、発表の準備。(概ね30分)				
15	全体授業の振り返りと今後のパークの在り方等検証				事前：期末レポートの構成・資料収集。(概ね30分)				
教科書	特になし								
参考文献	「ディズニーランドはなぜお客様の心をつかんでほさないのか」芳中 晃著								
備考	本科目では八木山ベニーランド、スバリゾートハワイアンズを訪問する予定で、2コマ連続、あるいは終日の授業になるため履修者はUNIPAなどの情報に注意し、他の予定を入れないなどの対応が必要になる。授業への疑問等については、次回授業にフィードバックを行う。								
※以下は該当者のみ記載する。									
<b>実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)</b>									
旅行会社に40年以上勤務し、営業職として様々な経験を有しており、テーマパークビジネスに関しても造詣が深い。									

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-08				
	●	●								
科目名	観光研修Ⅱ				単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		試験 (レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	「観光研修Ⅱ」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。この科目は1年次の「観光研修Ⅰ」を引き継ぐものであり、1年次に学んだ観光事象についての認識をもとに、観光に関する学修をより多方面から捉え、その結果として獲得した知識や論理的思考力によって観光学修の意義を自分の言葉で説得的に表現する力を養う。									
到達目標	「観光研修Ⅰ」で学んだことを基に、自ら課題を発見し、解決する力を育成することを目的とする。観光現場を訪問するのみならず、関連分野の実践的に学ぶことにより専門的知識をさらに深化させ、卒業後に観光ビジネス等の分野で活躍できる実務能力を身につける。									
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。									
回	授業計画				準備学修					
1	サービス介助体験セミナー ①事前学修				【事前】 サービス介助士資格とはどのようなものなのか調べておくこと (概ね50分)。					
2	サービス介助体験セミナー ②研修				【事前】 サービス介助士資格と観光業の関連性について調査しておくこと (概ね50分)。					
3										
4	サービス介助基礎研修 ③事後学修				【事後】 サービス介助基礎研修の内容をまとめておくこと (概ね50分)。					
5	手話体験講座				【事前】 観光業と手話の関りについて調査しておくこと (概ね1時間)。					
6	文化観光				【事前】 鑑賞作品について調査しておくこと (概ね50分)。					
7										
8	文化観光:事後学修				【事後】 鑑賞後の感想を800字程度でまとめること (概ね1時間)。					
9	学外研修:事前学修 (1年:「観光研修Ⅰ」と合同)				【事前】 研修地について調査しておくこと (概ね50分)。					
10	学外研修 (1年:「観光研修Ⅰ」と合同)				【事後】 研修地で学んだこと、体験したこと、知ったことについての資料を整理しておくこと (概ね50分)。					
11										
12	学外研修:事後学修 (1年:「観光研修Ⅰ」と合同)				【事後】 学外研修の内容をまとめておくこと (概ね50分)。					
13	教育文化施設視察				【事前】 施設に向けて質問事項を考えておくこと (概ね40分)。					
14										
15	教育文化施設視察:事後学修				【事後】 施設見学の内容をまとめておくこと (概ね40分)。					
教科書	使用しない。									
参考文献	参考資料は随時配布する。									
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。研修をオンラインに変更して実施することがある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-11				
	●	●	●	●	●					
科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	高野 宏輝		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぎぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。</p>									
到達目標	<p>①自分の強みを知り、自分らしい「リーダーシップ」を発揮し、チームの目標達成に貢献できるようにする。          ②「マーケティングマインド」を育成し、お客様に満足いただける仕事の重要性を理解できるようにする。          ③イベント運営の知識を修得し、アウトプットできるようにする。</p>									
学修者への期待等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント（ツアー等）の企画運営を行う。自分なりの強みを活かして、イベントの成功に貢献して欲しい。</li> <li>・グループディスカッションや自身が考えたことを発表する機会が与えられる。人の話を聴き、積極的に各自が発言することで、ゼミ活動の活性化に貢献して欲しい。</li> <li>・チーム活動が基本となる。全コマ出席する意思のある学生に参加して欲しい。</li> </ul>									
回	授業計画				準備学修					
1	授業ガイダンス（ゼミの進め方等） イベント運営の知識⑤製作推進と管理・会場製作				【事前】テキスト7-8節を読んでくること（30分程度）					
2	イベント運営の知識⑥プログラム製作・告知集客				【事前】テキスト9-10節を読んでくること（30分程度）					
3	イベント運営の知識⑦イベント運営の全体像				【事前】テキスト11節を読んでくること（30分程度）					
4	イベント運営の知識⑧運営業務のポイント				【事前】テキスト12～15節を読んでくること（1.5時間程度）					
5	イベント運営の振り返り				<del>【事前】テキスト13-15節を読んでくること（1時間程度）</del>					
6	観光施設フィールドワーク 準備				【事前】該当する資料や動画を閲覧する（1時間程度）					
7	観光施設フィールドワーク				【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
8										
9	イベント企画①イベント内容の決定 グループワーク				【事前】全員で企画するイベント運営の準備を行う（各回 30分～1時間程度）					
10	イベント企画② イベント計画立案 グループワーク									
11	イベント企画③ 運営マニュアル作成 グループワーク									
12	イベント企画④ 運営準備 グループワーク									
13	イベント実践（2コマ連続）				【事後】振り返りレポートを提出する（30分程度）					
14										
15	リーダーシップ行動振り返り まとめ（全体を振り返って）グループワーク				【事後】全体振り返りの最終レポート作成し提出する（1時間程度）					
教科書	イベント検定公式テキスト「基礎から学ぶ、基礎からわかるイベント」 日本イベント産業振興協会著、UDジャパン（2015/3/1）									
参考文献	必要に応じて講義中に紹介する。									
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内課題はUNIPA経由での提出を基本とし、教員評価の後に各学生へフィードバックされる。適宜参考資料をUNIPA内に掲載する。</li> <li>・グループワーク・チーム活動における情報共有にはMicrosoft Teamsを活用する。</li> <li>・受講者の要望、理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。</li> <li>・準備学修は、各講義の際に必要なに応じて個別に指示する。</li> </ul>									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

旅行会社で顧客に対するイベント企画提案、運営実践の経験がある。イベント業務管理士として、知識と実践に基づく学生指導を行う。

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●	●	●	●

科目ナンバリング
TB-4-SEM-11

科目名	観光ゼミⅢ				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	50 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>「観光ゼミⅢ」は基本的に「観光ゼミⅡ」の学修を引き継ぎぐものであり、同じ教員の観光ゼミを前期に引き続いて後期も選択することが期待される。2年次の1年間をかけて、観光に対する認識を深化させ、「観光ゼミⅡ」で獲得を目指した力に加えて、観光現象に関する注意力、思考力などを養う。具体的には教員の助言のもとで、関心ある課題の発見、調査、解決、振り返りを行うという一連の学修活動を繰り返すことで、2年間の観光ビジネスの学びを集大成するような認識の獲得を目指す。</p>									
到達目標	観光ゼミⅡに継続して、宮城観光事情の深掘りで仙南地区の検証を行います。									
学修者への期待等	宮城全般の深掘り検証により、様々な角度から仙南地区を検証して、交流人口から関係 定住人口に向かう一つの選択肢を見出して欲しい。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス：ゼミの進め方、スケジュールの確認及び内容の説明, フィールド学修の説明等					宮城仙南地区の一般的な内容について調べておくこと (30分)				
2	蔵王町の観光資源について (蔵王エコラインとお釜の視察見学)					蔵王国定公園の観光資源について調べてみること (30分)				
3										
4	各グループ毎に仙南地区市町村及び出身地の観光深掘り					宮城仙南地区及び出身地の特性を調べてみること (30分)				
5	丸森町の観光資源について (齋理屋敷視察と伝統文化体験)					丸森町の観光資源について調べてみること (30分)				
6										
7	仙南地区市町村及び出身地の観光深掘り①グルメ					宮城仙南地区及び出身地特性を調べてみること (30分)				
8	仙南地区市町村及び出身地の観光深掘り②観光施設					宮城仙南地区及び出身地特性を調べてみること (30分)				
9	仙南地区市町村及び出身地の観光深掘り③お土産等					宮城仙南地区及び出身地特性を調べてみること (30分)				
10	各地のPOINT深掘り作業とまとめ					最終的な各市町村について観光資源の確認をすること (30分)				
11	まとめと首都圏からのモデルコース作成①情報収集					コース作りに必要なPOINTを調べること (30分)				
12	まとめと首都圏からのモデルコース作成②まとめ					最終的なコース作りのPOINTを再度調べておくこと (30分)				
13	名取市の観光資源について (名取トレイルセンター潮風トレイル講話)					潮風トレイルについて内容を調べておくこと (30分)				
14										
15	まとめ：宮城仙南地区全般, 資料作成					プレゼン内容の練習をしておくこと (30分)				
教科書	使用しない。									
参考文献	授業中に適宜示します。									
備考	授業への疑問等については、次回以降の授業にフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)
40数年旅行会社に在籍をした様々な体験, 経験を講義の中で伝えていきたい。